令和7年度リカレント教育プログラム推進プロジェクト

プロジェクト代表者：研究科教務委員会委員長

◆本事業の目的と概要

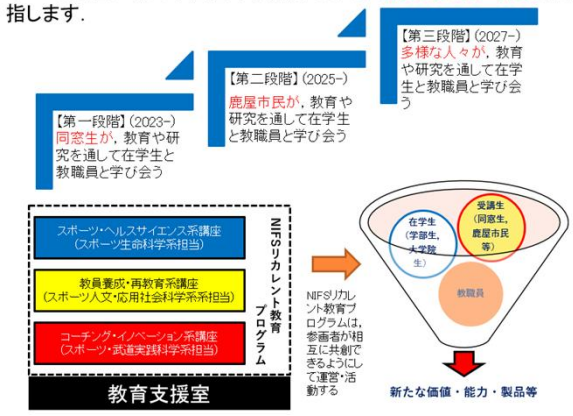
本事業は、社会人のキャリアアップ支援のため、教員組織の3系（スポーツ・武道実践科学系、スポーツ生命科学系、スポーツ人文・応用社会科学系）を柱に講座を実施するにあたり、必要となる経費及び担当教職員のインセンティブについて支援を行うものである。

◆本プロジェクトで達成すべき目標

- 教員組織の3系で各1コース（合計3コース）以上を開設する
- 第4期中期目標期間中に受講者総数を100人以上とする
- 本リカレント教育プログラムの実施により、本学の卒業生を含めた社会人等のキャリアアップの支援につながる

NIFSリカレント教育プログラム

鹿屋体育大学のリカレント教育は，世代を超えて，スポーツ・運動やDX等を柱に新たな価値等を創造できる共創的な教育・研究を目指します．



受講者数は令和5年度42人、令和6年度84人、令和7年度52人の合計178人で、
目標としていた受講者総数100人以上を大幅に達成している！

◆令和7年度の活動内容

それぞれの系のリカレント教育プログラムとして、以下の取り組みを実施しました。令和7年度の受講生は、総計52人。

【スポーツ・武道実践科学系】
- NIFSコーチングイノベーション講座（受講者4人）
- 本学OBのJリーグコーチによる指導者講習会－第二弾－（受講者18人）

【スポーツ生命科学系】
- スポーツリフレッシュセミナー（受講者13人）

【スポーツ人文・応用社会科学系】
- アスリートが体育授業に参画するための基礎的な知識・技能獲得に向けた学習コンテンツ（受講者17人）

系	令和7年度実施状況
スポーツ・武道実践科学系	講座名：NIFSコーチングイノベーション講座「個別プログラム（種目：テニス）」 開催時期：1回目/オンコート編：2026年2月21日（土） 2回目/オンコート編：2026年2月28日（土） 3回目/ハイブリッド形式（対面およびオンライン）：2026年3月14日（土） 受講者数：4人 責任者：村上講師 協力者：金高教授、成田講師
	講座名：本学OBのJリーグコーチによる指導者講習会－第二弾－ 開催時期：令和7年12月28日（日） 受講者数：18人 責任者：村川講師
スポーツ生命科学系	講座名：令和7年度スポーツリフレッシュセミナー 開催時期：令和8年1月22日～23日 受講者数：13人 責任者：藤田教授
スポーツ人文・応用社会科学系	講座名：アスリートが体育授業に参画するための基礎的な知識・技能獲得に向けた学習コンテンツ 開催時期：令和7年7月14日～令和8年3月31日 受講者数：17人 責任者：椎教授

受講者合計	52人

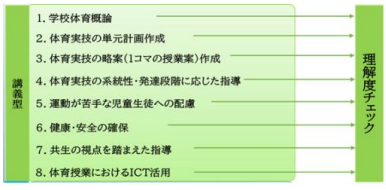
◆主な実施状況

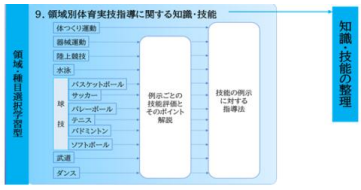
アスリートが体育授業に参画するための基礎的な知識・技能獲得に向けた学習コンテンツ

◆令和7年度の活動内容

アスリートが体育授業の内容や指導法の基礎を学んだうえで、体育の授業に参画し、より効果的に子ども達へスポーツの意義や価値を伝えることができるよう、動画コンテンツ教材による学習コンテンツをオンラインで視聴できるように提供している。

プログラムは、以下の（1）～（9）の内容から構成しています。
（1）学校体育概論
（2）体育実技の単元計画作成
（3）体育実技の略案（1コマの指導案）作成
（4）体育実技の系統性・発達段階に応じた指導
（5）運動が苦手な児童生徒への配慮
（6）健康・安全の確保
（7）共生の視点を踏まえた指導
（8）体育授業におけるICT活用
（9）領域別体育実技指導に関する知識・技能





NIFSコーチングイノベーション講座「個別プログラム（種目：テニス）」

◆令和7年度の活動内容

スポーツ・武道等の指導現場に携わる社会人のコーチングスキルを再点検・再学習する場を提供するものです。受講者自身の基礎的なコーチング力の現状を把握するとともに、受講者が現在かかえるコーチング問題を解決するヒントや知識が得られることを目的として、令和7年度は「個別プログラム（種目：テニス）」を開講しました。

本学OBのJリーグコーチによる指導者講習会－第二弾－

◆令和7年度の活動内容

プロサッカー界で活躍する本学OBのコーチ・アナリストを招聘し、彼らがプロの世界で培った実践的スキルを学ぶ指導者講習会を開催します。これにより、本学を中心とした産官学の連携によるリカレント教育の機会を創出するとともに、本学の魅力を全国のサッカー指導者へ発信し、将来的な受験者増に繋げることを目的として開講しました。